

かすが むこお 春日の婿押し - 春日市の民俗文化財 -

かすがじんじゃ さいれい さいだい ぎょうじ ぜんねん けつ
春日神社の祭礼の中で最大の行事が「春日の婿押し」です。この祭りは、前年に結

こん しんろう しんぶ いわ
婚した新郎・新婦を祝うために行われる行事です。



みいけ さぎちよう てんか
行事は御池横につくられた左義長に点火する

はし たると
ことから始まります。子どもたちによる樽取り

あいさつ やど しん
が行われた後、地区への挨拶「宿の行事」、神

ぜん けんこう あんぜん きがん はら わかみずさい
前で健康と安全を祈願してお祓いする「若水祭」

を行います。



さむ
みんな、寒いなか
冷たい池に入るのは
たいへんそうだね！



祭りの1番の見どころである樽取りは、寒さの中、御池に飛び込んだ男衆が樽を

うば
奪おうとぶつかり合います。樽が割られると

もくへん かみだな
その木片を奪い合います。とった木片は神棚

そな ごこくほうじよう かいうん きがん
に供えて、五穀豊穰と開運を祈願します。さ

しおいと はいでんも
らに「お汐井取り」、「拝殿揉み」、「婿押し」

とすすみ、最後に、はなむこ わかみず う
とすすみ、最後に、花婿に若水を打ちかけ、

せんしゅうらく むか
千秋楽を迎えます。

